

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		ものづくりのまちPR事業助成				所管	文化産業観光部 産業振興課		
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	12	計画事業名	異業種間交流推進			
	長期総合計画体系	[基本目標] I-1. 産業の活性化					事業の開始・終了年度		
		[小 柱] (1) 中小企業の経営革新支援							
		[施 策] ④ 販路・市場開拓支援[4]							
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区ものづくりのまちPR事業補助金交付要綱					
	事業対象	区内に事務所を有する企業又は事業所で構成された地場産業団体等							
	事業目的	本区がものづくりのまちであることを区内外にPRし、地域のイメージアップ、ブランド化及びものづくりに携わる企業の区内誘致・定着を推進する事業について、その経費の一部を補助することにより、地域経済の活性化を図る。							
	事業内容	事業対象団体が実施するイベントに対して、その経費の1/3を助成する。(100万円を限度とする。)							
委託の有無	なし	委託内容							
補助金の有無	都								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	助成事業数	件	3	-	2	3		
		参加企業数	社	600	-	285	601		
	決算額 (単位：千円)				-	1,261	1,634		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			-	417	426		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			-	0	0		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			-	1,261	1,634		
		総経費			-	1,678	2,060		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			-	0	0		
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			-	605	746		
一般財源 (区負担額)			-	1,073	1,314				
前年度から改善した事項	モノマチ開催直前に雑誌で特集が組まれ、事業効果が高まった。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	4	本区の「ものづくりのまち」としての魅力を区内外に発信している。また、異業種間の交流も盛んとなり、新たなものづくりネットワークが生まれている。						
	効率性	4	PR効果や地域の活性化を考慮すると、コストに比して高い効果を上げている。						
	手段の適切性	3	地元企業の有志が主体となって実施するイベントであり、区が補助的な支援をする現行の体制が適切である。						
目的達成度	4	新たに区北部地域においても同様の趣旨のイベントが開催され、盛り上がりを見せた。							
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	維持 拡大改善 維持 縮小 廃止・終了		
本区の特徴である「ものづくり」をコンテンツにした地域イベントは先進的な事例であり、情報発信力やものづくり分野でのネットワーク形成など事業効果は高い。区としてもこのような動きがより活発になるよう、助成金のみならず様々な側面的な支援を今後検討していく。									